

研究者15人に  
助成金を贈る

岡山医学振興会

岡山医学振興会(山田雅夫代表理事)は30日、医学分野の教育や研究、地域連携活動な



山田代表理事(左)から表彰状を受け取る研究者

どに取り組み県内の研究者15人に2020年度の助成金(総額915万円)を贈った。

岡山市北区鹿田町の岡山大鹿田キャンパスで贈呈式があり、山田代表理事が「新型コロナウイルス禍で大変な状況だが、皆さんの活躍を願っています」とあいさつし、一人一人に表彰状を手渡した。15人は硬膜下血腫の治療法開発、薬理学教育へのロールプレイ演習

の導入、肺がんの根治的治療の実現などを目指している。

振興会は県内の医学や医療の充実を目的に01年に発足。毎年助成しており、20年度は42件の応募があった。

助成を受けたのは次の皆さん。(敬称略) 王登莉、久松隆史、寺田整司、豊岡伸一、八木孝仁(岡山大大学院)、徳増一樹、藤原英晃、市原英基、榎田祐三、植田真司(岡山

大病院)、岡本安雄、横西哲広、宮野佳、種本和雄(川崎医科大)、松浦宏治(岡山理科大)(木村俊雄)